

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点④5〉

### 三郷学の視点

#### 三郷の資源(民話)

三郷市にある資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など)の一つに、様々な民話があります。

市民にもあまり知られていないものもありますが、その代表的な民話に「こくぞうさまとうなぎ」があります。彦倉にある延命院の虚空蔵菩薩(市指定文化財)にまつわるもので、大きな洪水が発生したとき、虚空蔵菩薩の使いであるうなぎが、流された村人の命を救ったとされています。

三郷には、動物綺談や川や沼にまつわる話など古くから伝わる民話が20話ほどあります。



これらの民話を題材にして、「手づくり絵本サークルハモニカ」が、布のコラージュによる素敵な絵本を8作品制作しています。平成24年に行われた三郷学フォーラムでは、この絵本を製本することが小学生から提言されました。これを受けて、今年度複写製本を行い、学校等に配付する予定です。子どもの頃から民話に触れることは、郷土への誇りや愛着を育むきっかけとなります。